

# 波郷 記念館 だより

砂町文化センター  
NEWS

第60号



発行日 2023年6月25日

江東区砂町文化センター  
〒136-0073  
東京都江東区北砂  
5-1-7  
電話 03(3640)1751

砂町文化センターでは、毎年、十一月二十一日の波郷忌にあわせ、企画展を開催してきました。

今年度のテーマは「関東大震災と俳句―「震災忌」と震災記録―」（仮）です。今年は関東大震災から百年という節目の年にあたるため、防災関連事業の一つとして実施します。関東大震災は、大正十二年（一九二三）九月一日午前十一時五十八分に発生、首都圏を含む南関東から東海地域を襲い、死者数は十万を越えました。



深川区役所の焼け跡と浸水『江東区史・中巻』

※現在の深川江戸資料館付近

展示では、関東大震災を詠んだ句と俳人、歳時記と季語「震災忌」をご紹介します。また、波郷の妻で俳人の石田あき子氏は、八歳の時に現在の江東区で関東大震災に被災しています。その時のことを振り返って書いた自筆原稿も公開予定です。

※企画展は、二〇二三年十一月七日（火）から十一月三十日（金）、砂町文化センター二階展示ロビーで開催します。

## 関東大震災を詠む

関東大震災を詠んだ代表的な句を二句ご紹介します。

震災忌向あうて蕎麦啜りけり そばすず 万太郎

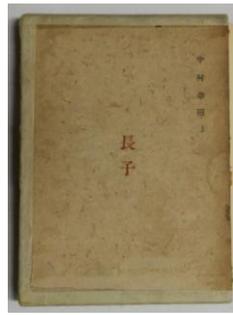
作者の久保田万太郎は浅草生まれで、関東大震災と東京大空襲に遭遇しています。右句は、震災から三十年以上の年月が経過してからの作句で、句集『流寓抄以後』昭和三十八年（一九六三）に所収されています。『流寓抄以後』は、昭和三十三年から昭和三十八年の死の当日までの約五年間の作品を収めた遺句集です。

次は中村草田男です。

まんが  
万巻の書のひそかなり震災忌

草田男

草田男は、震災時は上京前で松山に居住していました。右句は第一句集『長子』に所収されています。『長子』は昭和四年から十一年までの三三八句で独自の世界観を表現、現代俳句の新しい方向性を示し、高い評価を得ました。



句集『長子』

## 石田波郷編歳時記の「震災忌」句

関東大震災の発生した九月一日は「防災の日」として各地で避難訓練などが行なわれています。俳句では、この日を「震災忌」と呼び、秋の季語として歳時記にも収められています。

石田波郷編『現代俳句歳時記』昭和三十八年（一九六三）には、左記の例句があげられています。

地下室に木魚の音や震災忌 赤星水竹居（すいちくきよ）

今もなほ一職工や震災忌

われ病みて国敗れたる震災忌

ひとすぢに鈍色（にぶいろ）の河震災忌

かけてある居間の刺子や震災忌

ぬれそぼちささぐる花も震災忌

家ぬちをやまんが抜ける震災忌

路地に青き空みあげたり震災忌

午笛にぶく海に消えたり震災忌

甲斐の山美しく晴れ震災忌

河野ひろみ

京極枳陽

松村蒼石

中 火臣

武石佐海（さかい）

皆川白陀

鈴木真砂女

鈴木秀朗

赤堀五百里

## 震災を記録する

俳人による関東大震災の記録には、河東碧梧桐（かわひがし

へきこう）「大震災日記」

や川端茅舎（ぼうしや）「震

災日記」があります。

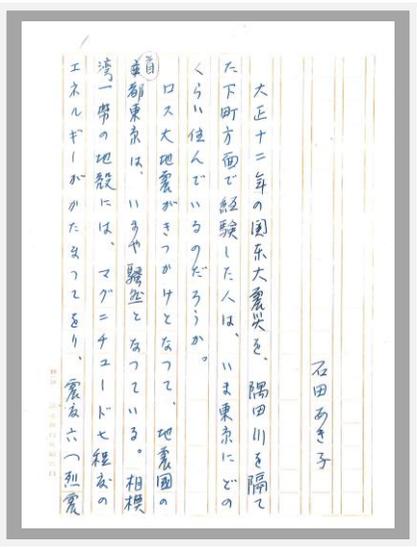
下画像は、石田あき

子氏が震災について綴

った原稿の一部です。

震災当日の様子を詳

細に述べています。



写真と俳句のコンテスト

作品募集

## 「こども江東歳時記」

作品募集 7月10日（月）から 9月10日（日）まで

こころに残った風景、その時感じたキモチを写真と俳句で伝えてみよう！

■対象：小学生～高校生

■要項・応募用紙：

江東区内各文化センター、  
総合区民センター、  
芭蕉記念館で配布。  
※またはホームページを  
ご覧ください。

■応募料：無料

■締切：9/10（日）  
必着



小学五年 石川晟  
(学年は受賞時)

「弟が投げた一球夏へ飛ぶ」

二〇二二年度 第八回こども江東歳時記  
石田波郷記念館「江東歳時記」賞受賞

「こども江東歳時記」関連イベント

## こども俳句ワークショップ

6/10から  
受付中！

砂町文化センター内の庭を講師と歩いて俳句作りに挑戦します。  
感じたこと・頭に浮かんだことを俳句に詠んでみよう！

■日時：7月29日（土）9時30分～12時

■場所：砂町文化センター

■対象・定員：小学生以上の児童と保護者  
10組

■料金：30円（保険料ほか）

※小学3年生以下は保護者同伴  
その場合60円

■講師：おおたにひろし大谷弘至（俳句結社「こし古志」主宰）

■お申込み：電話・窓口で（先着順）



2022年度ワークショップ

## 「こども江東歳時記」関連イベント

### 俳句を詠んで七夕飾り ～季節の五・七・五～

短冊に、季節を感じる俳句を詠んで飾りましょう。俳句の作り方についても、ミニ展示で説明しています。

★6/20（火）～8/6（日）

9時～21時

最終日は15時まで

★砂町文化センター1階ロビー

★どなたでも ★無料



砂町文化センター

七夕飾り



砂町銀座の七夕

(波郷撮影)

波郷ゆかりの地

## 砂町で 吟行&句会 を開いてみませんか

### 【施設のご案内】 ～句会に～

砂町文化センターでは、「会議室」などをお貸出ししております（有料）。センターには、「石田波郷記念館」、「砂町図書館」が併設されています。図書館には「俳句関連図書コーナー」もあります。

### 【周辺のご案内】 ～吟行に～

文化センターの周辺には、石田波郷も歩いた妙久（みょうきゅう）寺や志演（しのぶ）尊空神社、JR 貨物小名木川（おなぎがわ）線などがあります。

また、小名木川や仙台堀川公園、江戸時代に建てられた旧大石家住宅（江東区指定文化財）など散策をお楽しみいただけます。

### 【会議室を利用するには】

3か月前の3日午後1時から、お電話で予約をお受け付けいたします。

（例えば、4月3日午後1時から、7月分の受付を開始します。）

詳しくは、砂町文化センターホームページをご覧ください。お電話にてお気軽にお問い合わせください。